

## 4 教育の情報化

### 1 事業目的

教育の情報化（「情報教育（情報活用能力育成）」…**A** 「教科指導におけるICT活用」…**B** 「校務の情報化」…**C**）を推進し、教育の質の向上を図る。

### 2 実施方針

- (1) 学習意欲を高めるわかる授業づくりにむけて、教科指導におけるICT活用を推進し、授業力向上を目指す。（関連 **A** **B**）
- (2) 発達の段階に応じた体系的な情報モラル教育を推進する。（関連 **A** **C**）
- (3) ICT活用環境の充実に向け、学校（園）の情報システムの購入、設計及び推進の充実を図る。

### 3 実施内容

- (1) 教科指導におけるICT活用の推進
  - ① 普通教室における実物投影機および大型ディスプレイ等の常設環境整備に伴い、教員のICT活用指導力の向上を図る研修を実施する。
  - ② グループ研究員による授業実践および各校によるICT活用の情報共有を行う。
- (2) 情報モラル・情報セキュリティ研修の推進
  - ① 児童生徒が自身で判断して行動できる力を身につけるために、各教科や道徳等での情報モラル教育の実践例を提供する。
  - ② 全教職員を対象に実施するeラーニングの内容を精査し、情報モラルおよび情報セキュリティについて最新の情報を提供し、セキュリティ意識の向上を図る。
  - ③ 学校園版情報セキュリティポリシーに基づき、資産管理システム等を運用し、対象となるICT機器のシステム面でのセキュリティ対策を引き続き実施する。
- (3) 学校（園）の情報システムの購入、設計及び推進
  - ① 授業改善および教員の指導力向上につなげるため、大型ディスプレイ、実物投影機を全普通教室に配置することにより、教科指導におけるICT活用のさらなる充実を目指す。
  - ② 総合教育センターホームページ内「家庭学習のへや」の充実  
家庭学習の充実に向け、PTAや教職員に対し、「みんなの学習クラブ タブレット版」の利用法を啓発する。
  - ③ 平成24年度導入したコンピュータ教室（小学校11校、特別支援学校1校）、平成25年度に導入した校務用端末（小学校）、電子黒板・実物投影機（小・中学校）の更新を行う。

### 4 実施状況

#### (1) 研修

- ① 情報教育研修会 2回  
8月10日（金）29人  
講話及び演習：「プログラミング的思考を育む」  
講師：大阪教育大学大学院 准教授 寺嶋 浩介 氏  
2月14日（木）32人
  - 1 公開授業 5年 社会科  
「人と環境にやさしい車づくり」  
授業者：伊丹市立桜台小学校 井上 修二 教諭
  - 2 事後研究会
    - (1) 授業者から
    - (2) 実践報告  
報告者：伊丹市立桜台小学校 細田 愛夏 教諭
    - (3) プログラミング教育について  
講師：伊丹市立総合教育センター 増田 朋之 指導主事
    - (4) 質疑応答

- ② 学校園別コンピュータ研修会 4校 96人  
 8月20日(月) 24人 荒牧中学校 学習クラブ使用・活用方法について  
 8月23日(木) 25人 西中学校 情報セキュリティ、教科指導におけるICT活用  
 8月23日(木) 15人 神津小学校 情報モラル・セキュリティ、プログラミング教育  
 8月23日(木) 32人 天神川小学校 教科指導におけるICTの活用、プログラミング教育
- ③ システム管理担当者会の開催 4回  
 5月17日(木) 32人  
 9月6日(木) 30人  
 2月14日(木) 32人  
 3月12日(火) 37人

## (2) 学校園の情報化支援

- ① 教育情報化グループの体制及び学校支援  
 指導主事2人、事務職員2人、情報化推進員(嘱託職員)にて、電話問い合わせやリモート対応等のヘルプデスク機能を充実する。
- ② 校務支援システム運用支援  
 電子化された通知表および指導要録の運用における支援
- ③ 学校園ホームページ更新(情報発信)支援  
 月4回以上の更新を行うことができるよう、訪問およびリモート対応により、学校園を支援した。

## (3) 機器運用・整備

- ① 学校園設置機器の概要  
 ア 校務用PC(事務用) 1,208台  
 ・常勤教員1人1台  
 ・各校共用3台  
 ・セキュリティ機能付きUSBメモリ  
 ・プリンタ、スキャナ等周辺機器  
 イ 教育用PC(コンピュータ室) 1,209台  
 ・小学校 児童用43台、教師用1台  
 ・中学校 生徒用41台(ノートPC31台、スレート型PC10台)、教師用1台  
 ウ ICT機器  
 ・大型ディスプレイ等+電子黒板  
 ※電子黒板は各小・中学校6台 特別支援学校1台  
 ・実物投影機  
 エ 各種システム  
 ・インターネット・イントラネットの提供  
 ・セキュリティ対策(ウィルス対策・フィルタリング・資産管理システム)  
 ・校務支援システム  
 ・センターサーバ(校務用データの保存)
- ② 平成30年度更新  
 ア 学校園における情報教育環境の整備  
 ・校務用端末の更新(小学校)  
 ・大型ディスプレイ等及び実物投影機の更新(小・中学校)  
 ・児童生徒用端末の更新(小・特別支援学校)

## (4) 家庭学習の充実を図る支援

- ・家庭学習プリント配信システム「みんなの学習クラブRタブレット版」の運用
- ・小・中教員、PTAを対象とした活用法の啓発(学校園別PC研修、出前講座)

## 5 成果と課題

### (1) 成果

- ① 情報教育研修会、学校園別コンピュータ研修会を通して、ICTの活用方法や事例の紹介ができた。(ICTを活用した授業時間数の目標値:1クラスあたり1月平均26.5時間 平成31年3月末現在 37.9時間)

(関連[B])

- ② 情報モラル・情報セキュリティの資質を高めるため、全教職員対象のeラーニングを実施した。(平成30年6月20日～7月20日 実施人数1,067人) (関連[A])
- ③ 各学校園の学期末の棚卸状況を集約し、情報資産の管理を徹底することができた。(関連[C])

## (2) 課題と改善策

- ① ICTを活用した授業時間数については、目標値を達成しているが、学校間に格差があるため、ICT機器における基本的な使い方を、苦手意識を持つ教員へ研修し、活用への意識を高める必要がある。
- ② 次年度以降、タブレットの導入を視野に入れ、ICTを活用した授業研究及び事後研究を実施し、活用の場面・方法等について研修する機会を設けることで、引き続き充実を図る必要がある。(関連 [B] [C])
- ③ 情報化社会が急速に進行していく中で、児童生徒が正しく情報を取捨選択し、活用できる力を身につけさせるため、各教科や道徳等で情報モラル・情報セキュリティに係る授業等を推進していく必要がある。(関連 [A])
- ④ 「家庭学習のへや」の活用を推進するとともに、学校間の活用に格差があるため、各小・中学校教員、PTAを対象とした活用法の啓発を行う必要がある。